

平成15年度第1回 宇都宮市冒険活動運営委員会会議事録

日 時 平成15年7月24日(木) 10:00~12:00

会 場 宇都宮市冒険活動センター 会議室

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 役員選出
- 5 議 題

事務局一任により、会長 阿久津義正委員 副会長 三村正行委員

(1) 報告事項

平成14年度事業報告について ... 資料1

事務局 : 利用状況について、実人数は16,000人から19,000人平成8年から14年度の7年間の利用は減少することなく横ばいです。14年度の利用は久々に18,000人を超えました。月別利用状況は、季節のよい5・10月と7・8月は毎年利用者が多く、夏休みは土曜・日曜日は満員で予約を断っていることが現状です。1・2・3月の冬は利用は少ないのでセンターでも工夫はないか努力してきました。14年3月の利用に関しては、主催事業を入れ若干利用の増加がみられました。

利用団体の種別では、一番多いのは市内小中学校利用です。その他の部活動や大学・幼稚園・生徒会が若干あり、あとは一般利用が占めています。全体に学校利用と一般利用は半々であるが、少子化傾向より、一般の利用が増えてきている傾向があります。

日数別利用状況は、1泊2日の利用が一番多く、このところの傾向として日帰り利用が少しずつ増えています。3泊4日は24団体が利用、その中21団体が中学校利用であり、3団体が一般です。一般の3泊4日利用は少ないです。

視察関係では、減っているようではあるが、他県や市町村からの視察が多い状況です。

主催事業一覧では、家族ふれあいキャンプや冒険キャンプは毎年応募が多く人気があります。パネル展は市役所1階で実施しており、多くの方々に紹介できたと思われま

会 長 : 平成14年度の報告で何かありますか。

家族の利用や参加がこれから増えるといいと思いますが、何か取り組みはありますか。

事務局 : 平成15年度では、親子向けの主催を増やしました。

平成15年度事業計画について ... 資料2

事務局 : 今年度の主催事業は10種類18事業です。家族ふれあいキャンプは15組から20組募集と増やし、エンジョイサタデーははじめての日帰りの主催で、親子連れ対象で一般の方はどなたでも参加できます。野外活動指導者研修会は冒険センターで野外指導者を育成する研修会を今年度はじめて開催しました。それ以外の事業につきましても参加者が増えるように努力しているところです。冒険キャンプは毎年多くの応募があり抽選で参加者を決定しますが、今年度ははじめて抽選なしで全員当選でき、この辺何が原因か悩んでいます。ご意見いただければと思います。

会 長 : みなさんのほうからなにかありますか。

渡辺委員 : エンジョイサタデーとはどんなことをするのですか。

事務局 : 日帰りで3時間しかないなので、園内でできる簡単なものを行なっています。終わってしまったのが杉板焼き、ニュースポーツ、オリエンテーリングで、今後行なう予定は、登山、ディスクゴルフ、などお金をかけず少しの時間でできるものを考えています。

会 長 : 新しい事業を実施するにあたって、スタッフの方の対応は大丈夫ですか。

事務局 : 正直人手が足りないのが事実です。人手さえあればもっと事業を増やせる。平日は学校対象に指導者がついてるので土曜・日曜や夏休みは非常に手薄の状態です。その辺も本日の議題の中に提案したいと思います。

三村委員 : 冒険キャンプの参加者が少なかったのは、なにか応募方法が変わったことはないですか。

- 事務局：今までは往復ハガキに連名応募できたのが、今年度からいろいろな学校が一緒になれるように申し込みをひとり1枚にしました。また印刷物を各学校に送っていましたが、今年度から教育情報システム（メール）で学校に送っています。現物が学校に届くのとメールで届くのとでは、多少子ども達への通知に影響があるのかとおもっています。
- 森山委員：今は別にそれはないと思います。
- 三村委員：夏休みに複数の小学校でキャンプを実施していて、参加者が非常に多いらしく、参加申込みも早い時期から応募しているようです。推測ですが、それが少し影響しているのかなと思われる。
- 四宮委員：今の子ども達は一人で決断して参加する子は少なく、友達が行くからいくというような傾向が強いようです。本当は自分で決断して一人でも参加する子であって欲しいと思うけど、実際は違います。
- 三村委員：スポーツ少年団でもそういう傾向があり、子どものつきあっている幅が狭いから、ひとりで参加は勇気のいることなのでしょう。募集方法を参加しやすくするとよいのではないのでしょうか。
- 佐藤委員：栃木県で主催した事業の実行委員をしましたが、その時の応募方法もひとり1枚で県内から多くの参加があるので各校1～2名のみしか参加できません。学年ばらばらのグループ構成でも嫌がる子はいないです。子どもの自立心を助けるためには、連名応募はやらないほうがよいと思います。今年のような応募方法がよいと思います。ボウイスカウトのほうも経済状況もあるのか年々参加人数が減ってきています。
- 森山委員：校長会で課長さん、所長さんに参加してもらい説明して宣伝するとよいと思います。
- 三村委員：応募人数は何を基準におくかが大切で、多くの応募人数がよいのか、応募人数が少なくても本当に参加したい子を基準におくのか、応募の目的を決めた方がよいと思う。
- 佐藤委員：今回の50名のグループ数はどのくらいですか。
- 事務局：9グループの5～6名です。理想としては1グループ6～8名くらいです。活動内容によって不便なこともあります。
- 会長：できれば多くの子供たちに機会を与えたいが、本当に参加したい子供を育てたいなら連名でない応募をつづけていくべきなのではないのでしょうか。50人を割るようならまた検討するというところでよろしいのでしょうか。

その他（アンケート集計等） …… 資料3

- 事務局：一般利用用のアンケート集計と学校利用用のアンケート集計を資料として用意しました。
 学校用：・平成14年度は抽出した小中学校を対象にアンケートを実施しました。事前と事後のアンケートの質問事項内容は同じです。
 ・冒険活動事前事後アンケートの集計について P3・4
 ・アンケート集計結果のまとめについて P5（生活習慣は伸びている。自然への知識・理解は平均値は伸びていない。小・中学校共に同じ傾向である。）
 ・今後の課題について P6（今年度は全校にアンケート実施。質問事項も冒険活動センターの独自性だそうと14年度の質問事項の多少文章をかえています。）
 一般用：一般用のアンケート結果について
- 会長：アンケートについて何かありますか。
 改善してほしい項目では、基本的には冒険センターは多少不便さを伴うということを利用者に理解してもらい、認識してもらうことが必要だと思います。
- 古賀委員：冒険センターのあり方や考え方などを、利用者にわかるように書いて表示したら理解してもらえるのではないかと思います。（必要項目など）
- 根津委員：県民の森でも設立当初はたくさん申込みがあったが、最近はオートキャンプ場に流れているようです。キャンプは不便であるのは常識であるが、便利性を求めるのが主流になってきているようです。
- 会長：基本的にはセンターの趣旨など理解してもらうことが大切です。

(2) 協議事項

指導者養成事業これまでの流れ ... 資料4

事務局：今までは、センター独自で職員を対象に、センターでの活動のできる人材を育ててきたが、昨年度からCONEに加入し、今年度から一般の利用者を対象に指導者を養成する研修会を実施しました。冒険センター職員に関しては、全てCONEの指導者資格を取得しました。リーダーバンク事業を16年度には実際に冒険センターで運用していきたいと考えています。14年度から16年度の3年間で指導者養成とリーダーバンクの運営までの仕事を行なっています。16年度には指導者を実際に活用していきたいと考えています。

新村委員：リーダーバンクの運営や指導者養成については賛成であります。問題としては3泊4日のキャンプの中で、いきなり途中から一つのアクティビティを任されると、全体のプロセスを知らないのやりづらい。(外部依頼だと)キャンプ全体に携わった人が行なうのが好ましい。また全体のキャンプの流れが鈍ることがあるので難しい。ここでの指導者は安全管理面や自然を振り返る・人間関係作りが基本的に場慣れしているので、心配はしない。

リーダーバンクの事業について ... 資料5

事務局：資料5の説明

冒険活動センターの目標・現状を踏まえ、職員の資質の向上・指導者の養成・リーダーバンクという流れが全体の見直しで浮び上がる。15年度にはこれ1本にしぼり、センターで動いています。いずれは、大きな主催事業の中に指導者として組み込んでいくという流れは残していきたい。

会長：今の説明の中で何かありますか。

新村委員：100名くらいの指導者がいると、心配なのは頼みやすい指導者がでてくると思う。できれば、難しいとは思いますが、エキスパートなグループを作り、グループの中でお互い研修をして自分たちの質を高め、指導依頼があった場合、グループの中で割り振って行なえるとよいと思います。

会長：冒険施設の活動の中で、ちょっとくらいのけがを体験した方が自分を守る学習ができていいことだと感じました。林業センターと冒険活動センターとでできたら、お互いノウハウを活かして連携していただけるといい。篠井の自然豊かなフィールドを使って、研究の充実を図ってもらえるとありがたい。

7 閉会